

自然と技術 (Science and Technology)

水産と生物 (Fisheries and Aquabiology)

浜野 龍夫・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

2単位 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目: 『自然と技術』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目: 『生物学』)

【授業の目的】 漁業と水産生物の生態や食材としての利用について学習することを通して、生物資源や漁村コミュニティの重要性を問ひかけ、必要とされる環境保全活動や生物資源の開発・利用研究について考える。水産業や水圏環境の保全が、各人がこれから学んで行く専門分野に支えられながら、各人の食生活を支えていることを理解する。

【授業の概要】 水生生物の生態の面白さ、その捕獲や資源増殖技術、そして料理などについて、映像を交えながら、地域の実例を中心に講述する。

【キーワード】 生物資源、水産、漁業、生態学

【関連科目】 『自然と技術/地域の農林水産業とその支援技術』(0.2)

【到達目標】

1. 水産業や水産生物に関する基礎的用語を理解する。
2. 魚介類の味を知る。

【授業の計画】

1. シラバス・講義概要の説明
2. 魚の基礎知識
3. 淡水魚の生態と利用
4. 海水魚の生態と利用
5. ウニ・ナマコの生態と利用
6. エビ・カニの生態と利用
7. 巻貝の生態と利用
8. 二枚貝の生態と利用
9. イカ・タコの生態と利用
10. その他の水産動物の生態と利用
11. 藻類の生態と利用
12. 漁業、増殖と養殖、水産加工
13. 水産研究の実例-1
14. 水産研究の実例-2
15. 期末試験
16. 総括授業

【教科書】 なし

【参考書等】 必要なときには配付する

【成績評価の方法】 期末試験と授業への取り組み姿勢で総合的に評価する

【再試験の有無】 なし

【講師へのメッセージ】 講義は計画の順番どおりには行われません。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220779>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 浜野 (3N04, 088-656-7271, hamanot@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜日 12:00-12:30)